

# 桜井だより（2月号）

令和5年2月16日 今治市立桜井中学校

厳しい寒さが続いています。徐々に遅くなる日暮れの時間などに、季節の歩みを感じます。

「冬の寒きを経ざれば、春の暖かきを知らず」ということわざがあります。桜は冬の寒さを越えてこそ、春に美しい花を咲かせます。人間も苦労があるからこそ楽しさや喜びを感じることができます。困難を経験することで生きている意味も分かり、生きることの楽しさや厳しさを味わえるのです。3年生は今、進路実現という困難の真っ只中にありますが、そうした試練に真剣に向き合い、乗り越えていく力が試されています。逃げない決意と立ち向かう覚悟を決めたとき、希望への光が見えてきます。3年生みんなで支え合い、この受検という壁を乗り越えてほしいと思います。受検は『団体戦』とも言われ、『チーム力』が大切です。学校をあげて3年生を応援しています。



## 少年式・記念行事（2年）

立春の2月3日、2年生は「少年の日」を迎えました。桜井中学校でも、2年生の健やかな成長を祝い、これからの活躍を願って、少年式と記念行事を実施しました。



午後は、記念行事として桜井海岸でアマモの播種を行いました。おもりのついたネットに、アマモの種子を入れ、それを順番に防波堤から海に投げ入れました。ご指導いただいた今治市農林水産課の方、桜井漁協や漁業関係者の方、地域の環境保護団体の方にも参加していただきました。以前の桜井海岸ではたくさんの生物が棲み着き、カニやエビ、魚類も豊富に獲れたそうですが、最近は漁獲量が激減しているそうです。今回播種したアマモが成長し、生物が棲みやすい海が復活することを願い、これからも環境保全活動を続けていきます。

